

2024 年 度

地 理 B

注 意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 解答はすべて解答用紙の決められた箇所に記入してください。
3. 試験開始後、解答用紙に氏名・受験番号を記入してください。
4. 試験問題はこの冊子の1～10ページに記載されています。
問題冊子の白紙部分は、メモとして使用して構いません。
5. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

I 林業・水産業について述べた次の文を読み、以下の問いに答えなさい。

樹林を用いた林業は生活を支える産業の一つであった。多様な植物の植生を生かした林業は各国で様々に展開されている。^①一方、森林伐採による環境問題は深刻化しており、例えば、南アメリカの 盆地に広く分布するセルバでは森林伐採が進み、熱帯雨林だけではなく、世界の環境にも深刻な影響を及ぼしている。

日本でも、木材が日用品や建築において日常的に使われており、林業の歴史も長い。^②江戸時代には幕府の管轄下に植栽した人工林が「御林」として山間で盛んに造られるようになり、今の国有林の原型となった。また、風の強い地域では、耕地や家屋を守るために が設けられることも多かった。

漁業もまた人々の生活と密接に関係する産業として発展してきた。日本の周辺で^③は、寒流と暖流の両方が流れ、また海岸から200m程度の浅い海底である が広がっており、好漁場が多い。ただし、1960年代以降には漁獲量が減少し、輸入^④される割合が増加している。国民が消費する食料のうち、国内生産でまかなえる比率である は、魚介類においては60%弱にとどまっている。

〔問い〕

(1) 文中の空欄 a～d にあてはまる用語をそれぞれ答えなさい。

(2) 文中の下線部①～④に関する以下の問いに答えなさい。

1. 下線部①に関連して、以下の問いに答えなさい。

1) 図1中のAの地域は針葉樹林帯が多い地域を指している。これらの地域で植生する針葉樹林の総称であり、ロシア語でシベリアの針葉樹林を指す用語を答えなさい。

- 2) 図1中のBの地域は、サバナ・熱帯季節林が広がる地域である。サバナ・熱帯季節林の樹種として適切なものを選択肢 あ～え から一つ選び記号で答えなさい。

【選択肢】

あ バオバブ い カシ う オリーブ え クスノキ

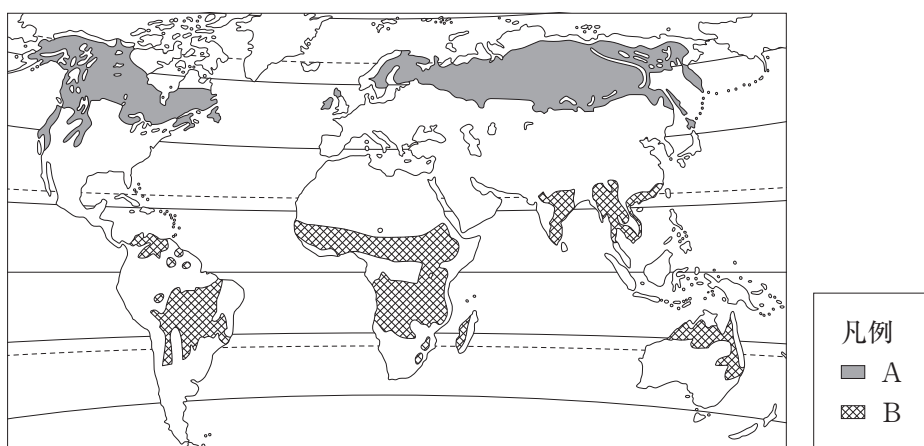


図1 世界の植生分布

- 3) アメリカ合衆国、インドネシア、中国、フィンランドの林業について述べた次の説明文 あ～え のうち、フィンランドに該当するものを一つ選び、記号で答えなさい。

【説明文】

- あ 森林面積の減少による砂漠化が進んだが、植林も進み、森林面積は回復傾向にある。
- い 世界有数の農業生産国でもあり、世界最大の木材の伐採量がある。
- う 森林地帯が国土の約7割を占めるため、電子系の先端技術産業と並んで、製紙やパルプなどの木材産業が主要産業の一角を占めている。
- え 原木輸出を全面禁止し、合板産業の育成に成功したが、資源が減少したため、人工林の育成が進められている。

2. 文中の下線部②について，戦後から1970年ごろまでの日本の森林及び林業の変化を，次の語群の用語をすべて使って60字程度で説明しなさい。

【語群】

エネルギー革命 薪炭材 人工林 建築材

3. 文中の下線部③に関連して，以下の問いに答えなさい。

- 1) 日本の水産業について説明した文として適切でないものを次の選択肢あ～えの中から一つ選びなさい。

【選択肢】

- あ 沖合漁業は，一般に200海里以内の排他的経済水域において短い航海日数で行なわれるものをいう。
- い 沿岸漁業は，海岸近くで行われる漁業だが，戦後，日本では港近くの漁業系資本によって大規模に行われることがもっぱらであった。
- う 北洋漁業は北緯45度以北の太平洋で行われる日本の漁業の総称であり，年々縮小の傾向にある。
- え 遠洋漁業は，遠隔の漁場に出漁して行うもので，漁船の動力化や大型化に伴って発達した。

- 2) 表1は日本の都道府県の漁業にかかわる指標をまとめたものである。X～Z にあてはまるものを、次の選択肢 あ～お の中からそれぞれ選び記号で答えなさい。

表1 日本の都道府県の漁業にかかわる指標(2020年)

	漁獲量(合計)	かつお類 漁獲量	さんま漁獲量	かき養殖 収獲量	うなぎ養殖 収獲量
1位	X	Y	X	広島県	鹿児島県
2位	茨城県	東京都	岩手県	Z	愛知県
3位	長崎県	Z	Z	岡山県	宮崎県
4位	Y	高知県	富山県	兵庫県	Y
5位	Z	三重県	福島県	岩手県	徳島県

『データブック オブ・ザ・ワールド 2023年版』より作成。

【選択肢】

あ 静岡県 い 宮城県 う 石川県 え 北海道 お 島根県

4. 文中の下線部④について、表2はある魚介類の2021年の日本への輸入元である国の順位を示したものである。1990年以降、急激に輸入量が増えたこの魚介類の名称を答え、この魚介類の養殖が増加したことによって東南アジアの国の自然環境に与えた影響について50字程度で答えなさい。

表2 Xの輸入元の順位(2021年)

1位	インド
2位	ベトナム
3位	インドネシア
4位	アルゼンチン
5位	タイ

『データブック オブ・ザ・ワールド 2023年版』より作成。

Ⅱ 南アジアについて述べた次の文を読み、以下の問いに答えなさい。

南アジアは三つに分けられる地形とモンスーン^①の影響を受ける気候によって特徴づけられる。北部は急峻なヒマラヤ山脈がはしり、中部はその山脈から流れるガンジス川やカラコルム山脈から流れる 川などの大河川の堆積作用によって平原が形成されている。南部のインド半島は、かつてのゴンドワナ大陸の一部で古生代以後に地殻運動を受けなかった となっており、平坦なデカン高原が広がる。

南アジアでは、ヒンドゥー教^②を中心とした社会があるが、イスラームやほかの宗教を信仰する人々も多い。インドでは、14億をこえる人々が住み、数百の言語が用いられている。インドでは連邦公用語である を話す人が最も多いが、北部での使用に限定されているため、英語がインドの共通語としての役割を果たしている。

インドでは地形や気候をいかして様々な農業^③が見られる。年降水量が、1000mmをこえる地域では稲作が農業の中心であるのに対して、年降水量が、1000mm未満の地域をみると、小麦や綿花の栽培が中心となっている。インドは長く食料不足に悩まされてきたが、^④1960年代に、高収量品種の導入を中心とした と呼ばれる技術革新を行い、農業生産が飛躍的に増加した。

インドでは、イギリスの植民地時代に綿工業や製鉄業などを中心に近代的な工業^⑤が始まった。独立後は国が基幹産業を、民間がそのほかの産業を経営する を採用し、鉄鉱石や石炭などの豊富な鉱産資源を利用して自給自足型の工業発展を目指した。近年では、情報通信技術(ICT)産業^⑥が急速に発展し、経済成長を牽引する重要な産業となっている。

〔問い〕

(1) 文中の空欄について、以下の問いに答えなさい。

1. 文中の空欄 a～d にあてはまる用語をそれぞれ答えなさい。
2. 文中の空欄 A にあてはまる用語を、次の語群の中から一つ選びなさい。

【語群】

計画経済 混合経済 資本主義経済 社会主義経済

(2) 文中の下線部①～⑥に関する以下の問いに答えなさい。

1. 下線部①について、インドでは、夏季(6月～10月)にはモンスーンが吹き、海洋の湿った空気を運んで雨季となる。この時期のモンスーンの風向きとして適切なものを次の選択肢 あ～え の中から一つ選びなさい。

【選択肢】

あ 北西 い 北東 う 南東 え 南西

2. 下線部②について、ヒンドゥー教における食の制限についてヒンドゥー教で神聖視されている動物を挙げて、その食が制限されている理由を30字程度で説明しなさい。

3. 下線部③について、次の表1は3大穀物の国別生産量を示したものである。
 バングラデシュにあてはまる記号をA～Dの中から一つ選びなさい。なお、
 A～Dは、インド、スリランカ、ネパール、バングラデシュのいずれかである。

表1 3大穀物の国別生産量(2020年)

	小麦	米	とうもろこし
A	107, 590	178, 305	30, 160
B	・・・	5, 121	314
C	2, 185	5, 551	2, 836
D	1, 029	54, 906	4, 015

注：Bの小麦欄は、「数値が得られない、不詳なもの」を示すために、「・・・」とした

『世界国勢図会 2022/23』より作成。単位は千トン。

4. 下線部④について、インドにおける綿花の生産の特徴について述べた文のうち適切でないものを、次の選択肢 あ～え の中から一つ選び、記号で答えなさい。

【選択肢】

- あ インドの綿花生産は世界の5分の1を占める。
- い 綿花は天然繊維の中で最も生産量が多い。
- う 綿花は日当たりのよい丘陵地を中心に栽培されている。
- え 綿花の収穫時期は主に乾季である。

5. 下線部⑤について以下の問いに答えなさい。

- 1) インドでは近代的な工業が発達する一方で、豊富で安価な労働力と熟練技能を生かしてもものづくりを行う伝統的な工業も残存している。例えばコルカタでは、高温多湿なガンジスデルタが主な産地の材料を用いた工業が発達している。その材料を、次の選択肢 あ～えの中から一つ選び、記号で答えなさい。

【選択肢】

あ 天然ゴム い 桑 う ジュート え パーム油

- 2) バングラデシュの工業について述べた文のうち適切でないものを、次の選択肢 あ～えの中から一つ選び、記号で答えなさい。

【選択肢】

- あ 縫製業を中心とした繊維工業が急成長している。
い 縫製業の主な担い手は、外国企業が直営する工場である。
う バングラデシュの人件費は中国の人件費よりも安い場合が多い。
え 高い人口増加率により、豊富な労働力が生産を支えている。

6. 下線部⑥について、新しい産業の一つである情報通信技術 (ICT) 産業が現地で発達している。その理由を「カースト制」と「世襲」に言及して40字程度で説明しなさい。

Ⅲ 東北・北海道地方について述べた次の文を読み、以下の問いに答えなさい。なお、文中の同一記号は同一内容を示している。

東北地方の太平洋沿岸は、北東からの冷たい風である a が強く吹く年は、冷夏となる。脊梁山脈の西側にあたる日本海側は冬の降雪が多く、夏はフェーン現象により高温になることがある。北海道地方は豪雪となる日本海沿岸部に対し、太平洋沿岸は冬の降雪量は比較的少なく、夏も寒流の b 海流の影響で海霧が発生し、気温が上がりにくい。

東北地方は、日本有数の稲作地帯であり、秋田平野や、庄内平野、仙台平野がこれまでの主産地だった。近年、耐寒品種の開発が進み、東北地方のなかで a によって冷害が起きていた地域や、北海道でも稲作が広がっている。もともと工業立地の少なかった東北地方だが、1980年代以降に電気機器、ICなどの工場が数多く立地するようになった。^① 一方で、北海道では地元の特性を活かした産業が発達している。^②

〔問い〕

- (1) 文中の空欄 a、b にあてはまる用語をそれぞれ答えなさい。
- (2) 文中の下線部①～②に関する以下の問いに答えなさい。
 1. 下線部①について以下の問いに答えなさい。
 - 1) 東北地方における、電気機器、ICなどの工場立地の特徴について、「時間距離」の語を用い、1980年代以降の変化が何によってもたらされたのかに言及したうえで、50字程度で説明しなさい。
 - 2) 東北・北海道地方のなかで、企業進出が少ない地域では、国や県による開発がすすめられた。青森県で、原子力燃料サイクル施設と石油備蓄基地が立地する市町村名を、次の選択肢 あ～え の中から選びなさい。

【選択肢】

あ 五所川原 い 三沢 う 大間 え 六ヶ所

2. 下線部②について述べた文として適切でないものを次の選択肢 あ～え の中から一つ選びなさい。

【選択肢】

- あ 道内に位置する炭田を利用し、室蘭を中心にした製鉄業が発達してきた。
- い 豊富な森林資源を利用した、製紙・パルプ工業が苫小牧などを中心に発達してきた。
- う 土地代が安いことを活かし、繊維工業の製造品出荷額は全国の上位に位置している。
- え 豊富な一次産品を背景に、食料品製造業の製造品出荷額は全国の上位に位置している。

- (3) 次の表1は、東北・北海道地方の道県別耕地面積、耕地率、1農家あたり耕地面積、農業産出額とその内訳を示したものである。BとDの県名をそれぞれ答えなさい。

表1 道県別農用地面積・農業産出額(2020年)

	耕地総面積 (ha) ₍₁₎	耕地率 (%) ₍₁₎	1農家あたり 耕地面積(ha)	農業産出 額(億円)	米	野菜	果実	畜産
					(%)	(%)	(%)	(%)
山形	115,800	12.4	2.95	2,508	33.4	18.5	29.1	15.0
A	125,500	17.2	3.03	1,902	41.8	14.5	1.6	38.1
福島	137,300	10.0	2.21	2,116	36.0	22.7	14.1	20.5
北海道	1,143,000	14.6	30.40	12,667	9.5	16.9	0.5	57.9
B	149,600	15.5	4.11	3,262	16.8	25.2	27.8	27.1
C	149,300	9.8	2.84	2,741	20.6	10.7	5.2	59.4
D	146,400	12.6	3.95	1,898	56.8	15.9	4.7	19.2

『データブック オブ・ザ・ワールド 2023年版』より作成。

注：(1)は2021年の値。